

KOS start up

1983年、奈良県大和郡山市に登記

1984年“電気通信事業の民営化”がスタートし、料金、サービスなど目まぐるしく変化していくなか、KOSは変化に柔軟かつ素早く対応し、業績を伸ばしていった。

KOSの強みは“提案力”

当時は営業担当がヒアリング内容を踏まえ、模造紙を掲げプレゼン資料を作っていた。現在も営業部に受け継がれている、お客様の要望を引き出し、解決する**提案力**は創業当時から現在まで受け継がれている。



奈良支店の写真

創業時、奈良県大和郡山市に登記していたが、営業活動は大阪の事務所が始まりだった。後に、奈良県の顧客増加に伴って、奈良支店が新築された。

新たな挑戦 モバイル事業参入

1993年、関西で8番目、奈良では1番目となるドコモショップ天理店を開設。目まぐるしく成長する業界に、モバイル事業部は柔軟かつ迅速に対応し、店舗数を拡大。「ケイオーエス移動通信株式会社」（現在のKOSモバイル）を設立した。

時代はIT “IT推進室を始動”

社内のIT及び営業商材強化すべく「IT推進室」を設立。社内の販売管理システムの基盤を自社構築し、社内のIT化を促進するとともに、社外のシステム開発にも積極的に取り組んでいった。この部署の設立は、今後のKOSにとって大きな強みになった。



2001年のDS天理店

天理店からはじまったドコモショップ事業は、現在10店舗になっている。現在では顧客ニーズにこたえる法人営業部があり、携帯電話以外の製品の取り扱いも行っている。



KOSの転機 “医療介護施設ユーザーの拡大”

2000年代、介護保険制度の導入や超高齢化社会への突入により、介護施設が急増。これを受けて、当社はナースコール・ハンディナースの販売を強化。医療・介護施設ユーザーへの導入によって業績を伸ばし、当社は医療機関の案件に強い企業となった。

モバイルの変革期 “ライフコンサルティングの時代へ”

スマホ時代の到来により、携帯だけを販売する営業から、ユーザーに寄り添うライフスタイルコンサルティング営業への転換期となった。モバイル事業部では、この変化に対応するため、個々のコンサルティングスキルと、サービス別専門スキルのベースアップに取り組んだ。この迅速かつ柔軟な行動により、KOSモバイルは更なる発展を遂げた。

IT推進室の躍進 “KOSの飛躍的発展”

2012年、当社にとって医療ネットワーク構築の先駆けとなる病院の案件を受注した。この案件からIT推進室による社外のネットワーク構築の受注が増加し、ネットワーク構築は当社の新たな強みとなった。2013年、**KOSネットワークへ社名変更**し、ネットワーク事業を含めたICTソリューション事業として成長していった。

力 実行力 速 行動 柔 変化への対応

KOS FutureVision

KOSの40年は、お客様のニーズをいち早くキャッチし、自由な発想と行動力を駆使して挑戦した歴史であり、まさに社訓である「**力速柔**」の理念のもと築いてきました。KOSはこれからもこの理念をもとに、イノベーションを生み出す環境と育成に努め、新たな柱となる事業に挑戦していきます。そして、50周年、100周年の未来でもお客様に貢献できるよう、挑戦と発展を続けていきます。

KOSは受け継がれてきた理念と、培ってきた経験・強みを活かし、50周年、100周年の未来もお客様に喜んで頂ける企業を目指します。

40th



繋がりのきっかけもwebの時代へ

2005年、Web集客へ取り組みを開始したが、当時の問い合わせはごく僅かであった。時を経て 2019年よりWebマーケティングの改善に取り組んだ結果、2021年には、Webからの問い合わせは以前の10倍となった。

経験は新たな挑戦のきっかけ

2021年、KOSはNECのクラウドサービス“UNIVERGE BLUE”の取扱いをスタートした。UNIVERGE BLUEは、“クラウドPBX・チャット・Web会議・ファイル共有”の4つの機能の提供するプラットフォームで、働き方に柔軟な対応ができるコミュニケーションツールである。また、スマートフォンとの連携が可能で、当社の強みであるPBXと連携することで、会社の内線電話をスマートフォンで受けることができるツールである。当社はこれまでの経験を活かし、さらなる新時代のコミュニケーションを築いていく。

スマホ内線ソリューション



SIMぶるフォンは公衆網を利用した当社独自のシステムだ。オフィスの内線機能をスマホで使える他、リモートワークや**BCP対策**としても活用が可能。

経験と強みを活かし、オリジナル商材でニーズにこたえる

医療施設での音声+データネットワークの構築経験を活かし、2015年関西初となる、医療施設向けのHIS連動したWi-Fiスマートフォン連携を構築。その後、Wi-Fiによる構築の課題であった、電波干渉やコストの面を解決させる**公衆網スマホ内線「SIMぶるフォン」**を独自開発し、リリースした。SIMぶるフォンは当社にとって、新たな強みとなった。このように当社は様々な経験・強みを繋ぎ、活用することでビジネスシーンに合わせた顧客ニーズに応えてきた。